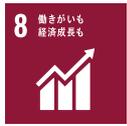


所属・職位	福祉健康科学部 福祉健康科学科 心理学コース・講師	
氏名	岩野 卓 (Iwano Suguru)	
取得学位	博士 (臨床心理学)、北海道医療大学、2016年3月	
SDGs目標	  	
研究分野	臨床心理学, 産業組織心理学	
研究キーワード	アディクション (依存), ポジティブ心理学, ウェルビーイング, オンライン教育	
研究内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 依存症に関する研究 アルコール依存の治療プログラムを開発し, 研究者のHP上で無料公開している (岩野ら, 2021)。同プログラム (右図) は, 県の依存症指定医療機関にて実施。依存症の誤解・偏見に関する調査も行っており, 医療関係者のアルコール依存症者に対する態度が悪く, 当事者との接点をもつことで態度が軟化することも検証している (岩野ら, 2020)。 ● ポジティブ心理学に関する研究 成人を対象として, ウェルビーイング (充実感) を高める介入プログラムを開発 (岩野ら, 2020)。ウェルビーイングの測定指標も作成している (岩野ら, 2015)。 ● オンライン教育に関する実践 大学の講義にて, Mentimeterを利用したオンライン講義を行い, 無記名学生アンケートにて高評価を得ている。教育研修に関しては, 対人プロセス想起法を用いた大学院生の技能向上を実践し (岩野ら, 2020), YouTubeを用いた教育動画の開発・公表も行っている (https://www.youtube.com/channel/UCP4-g_Hw0BNTgNnqLXjW0g)。 	
研究業績・アピールポイント	<ul style="list-style-type: none"> ● 論文 <ol style="list-style-type: none"> 1. Iwano, S., Kambara, K., & Aoki, S. (in press). Psychological interventions for well-being in healthy older adults: Systematic review and meta-analysis. <i>Journal of Happiness Studies</i>. 2. 岩野 卓・高野 裕太・堀内 聡・平原 弦・帆秋 伸彦 (2021). アルコール依存に対する集団認知行動療法プログラムの開発およびパイロット試験. <i>認知行動療法研究</i>, 47(3), 273-282. 3. 上地 広昭・堀内 聡・岩野 卓・島崎 崇史・竹中 晃二 (2021). 行動経済学に基づくライフスタイル改善のためのアプローチ. <i>ストレスマネジメント研究</i>, 17(1), 35-40. 4. Yuta, T., Iwano, S., Aoki, S., Nakano, N., & Sakano, Y. (2021). A systematic review of the effect of sleep interventions on presenteeism. <i>BioPsychoSocial Medicine</i>, 15. DOI: https://doi.org/10.1186/s13030-021-00224-z ● 受賞 2013年, 第35回日本アルコール関連問題学会第2回小杉好弘記念賞 受賞 	